



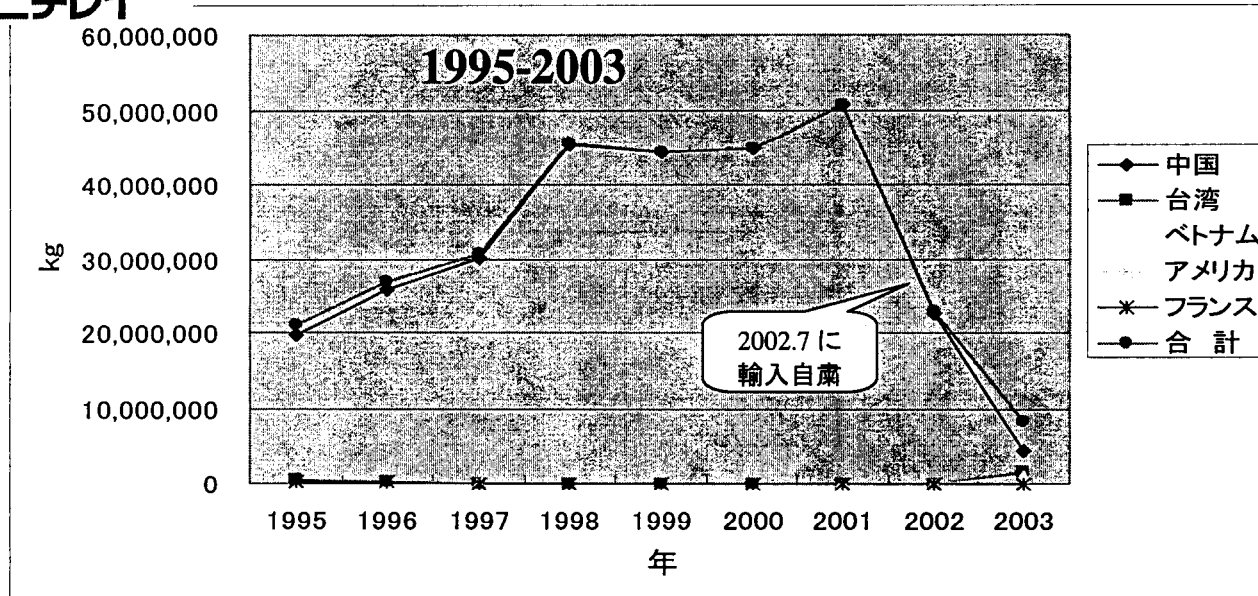
# 食に関するリスクコミュニケーション 輸入冷凍野菜の農薬管理の事例

2004年 12月3日  
株式会社ニチレイ  
品質保証部  
山本宏樹

# 中国産ほうれん草農薬問題の経緯

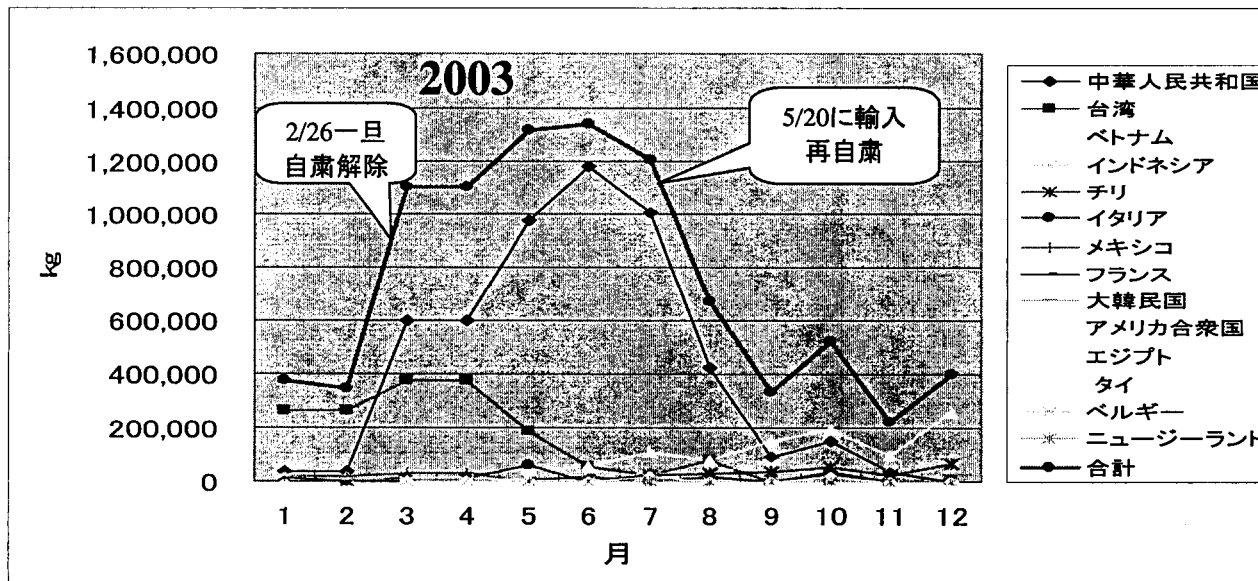
年度	月日	内容	
(平成14年) 2002年	3月16日	民間団体が中国産の冷凍ほうれんそうから規格基準を超えるクロルピリホスを検出したとの報道。	
	3月20日	検疫所においてモニタリング検査(10%)を開始	
	4月22日	違反発見により検査の対象を全届出に広げる	
	4月26日	検体数を2倍に強化(6月4日に4倍、同月14日に8倍に強化)	
	5月14日	中国政府に対し原因調査を要請(21日に再び要請)	
	6月1日	法違反に係る輸入者名の公表開始(ホームページに掲載)	
	6月4日	中国政府に対し対策が不十分なほうれんそうを我が国に輸出しないよう要請	
	7月10日	輸入業者に対し、輸入自粛の指導	
	8月26日	検査命令の実施(政令改正により冷凍ほうれんそうが検査命令対象として指定可能となり、同日施行されたため)	
	9月7日	「食品衛生法の一部を改正する法律」(包括的輸入禁止関係)の施行	
	7月22日	第1回局長級協議(北京)	
	8月14日	第1回課長級協議(北京)	
	8月15日	現地の加工工場、検査施設の実態調査(山東省)	
	9月3日	第2回課長級協議(東京)	
	9月13日	厚生労働省尾崎食品保健部長より中国側あて書簡を送付	
			現状の対策内容では不十分であり、更なる改善が見られない場合、輸入禁止措置発動の方向で検討を進めざるを得ない旨通告
	9月27日	中国政府国家質量監督検疫総局秦食品安全局長より食品保健部長あて書簡が到着	
			中国側から新たな対策の提案
			中国側が新たに提案した対策の内容を聴取
	10月25日	中国側の新たな対策を基本的に受け入れることを薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会に報告	
(平成15年) 2003年	2月17日	18日 担当官を中国へ派遣し、現地の農場、加工工場、検査施設の実態調査	
	2月21日	平成14年10月の局長級協議で中国側から提案のあった対策内容で文書により合意	
	2月26日	冷凍ほうれんそうの輸入自粛を解除	
	5月20日	自粛解除後に輸入された製品から2件の違反が確定	
		2回目の輸入自粛指導	
	5月29日	3件目の違反確定(再輸入自粛前に届出されたもの)	
	6月24日	局長級協議(東京)	
	7月31日	4件目の違反確定(再輸入自粛日に届出されたもの)	
	11月4日	局長級協議(東京)	
	(平成16年) 2004年	2月12日	局長級協議(東京)
3月29日		現地調査実施	
6月17日		輸入自粛一部解除	

# 冷凍ほうれん草輸入実績(税関貿易統計より)



●2003年の冷凍ほうれん草輸入量は8,925トンとピーク時(2001年)の1/6程度しかない。

●中国以外のパッカーには供給能力が不十分。



●違反件数(2002年2月～2003年2月)

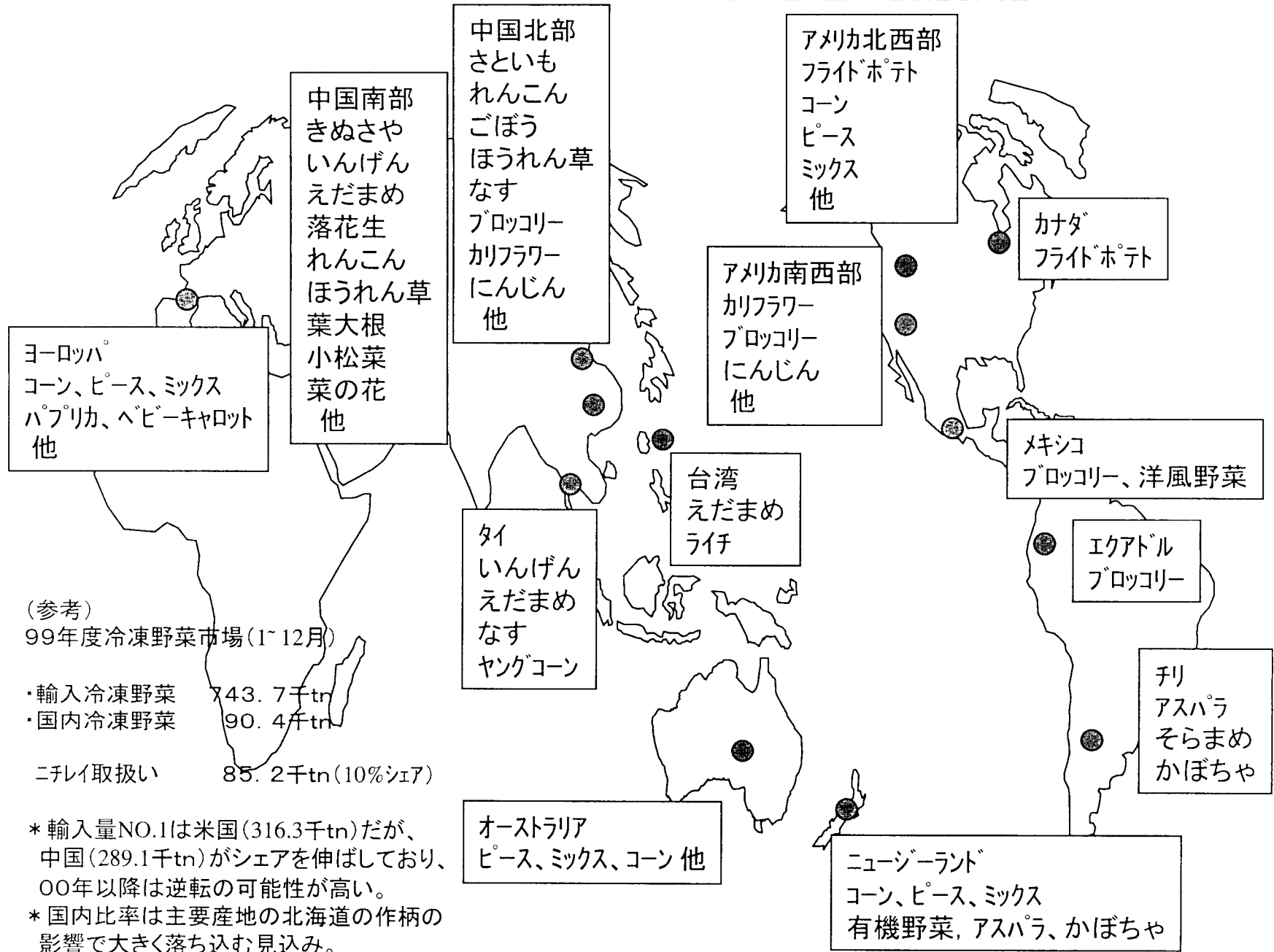
・輸入届出:1,212件  
(16,234トン)

・検査件数:658件

・違反件数:47件

(違反率7.1%)

# 冷凍野菜 主要生産国及び生産品目



(参考)  
99年度冷凍野菜市場(1~12月)

- ・輸入冷凍野菜 743.7千tn
- ・国内冷凍野菜 90.4千tn

ニレイ取扱い 85.2千tn(10%シェア)

\* 輸入量NO.1は米国(316.3千tn)だが、中国(289.1千tn)がシェアを伸ばしており、00年以降は逆転の可能性が高い。  
\* 国内比率は主要産地の北海道の作柄の影響で大きく落ち込む見込み。

# ニチレイ農薬管理 3原則

---

(余計に)  
**使わせない**

<具体的な取組み>

農薬使用に関する契約

(日本国内に)  
**持ち込まない**

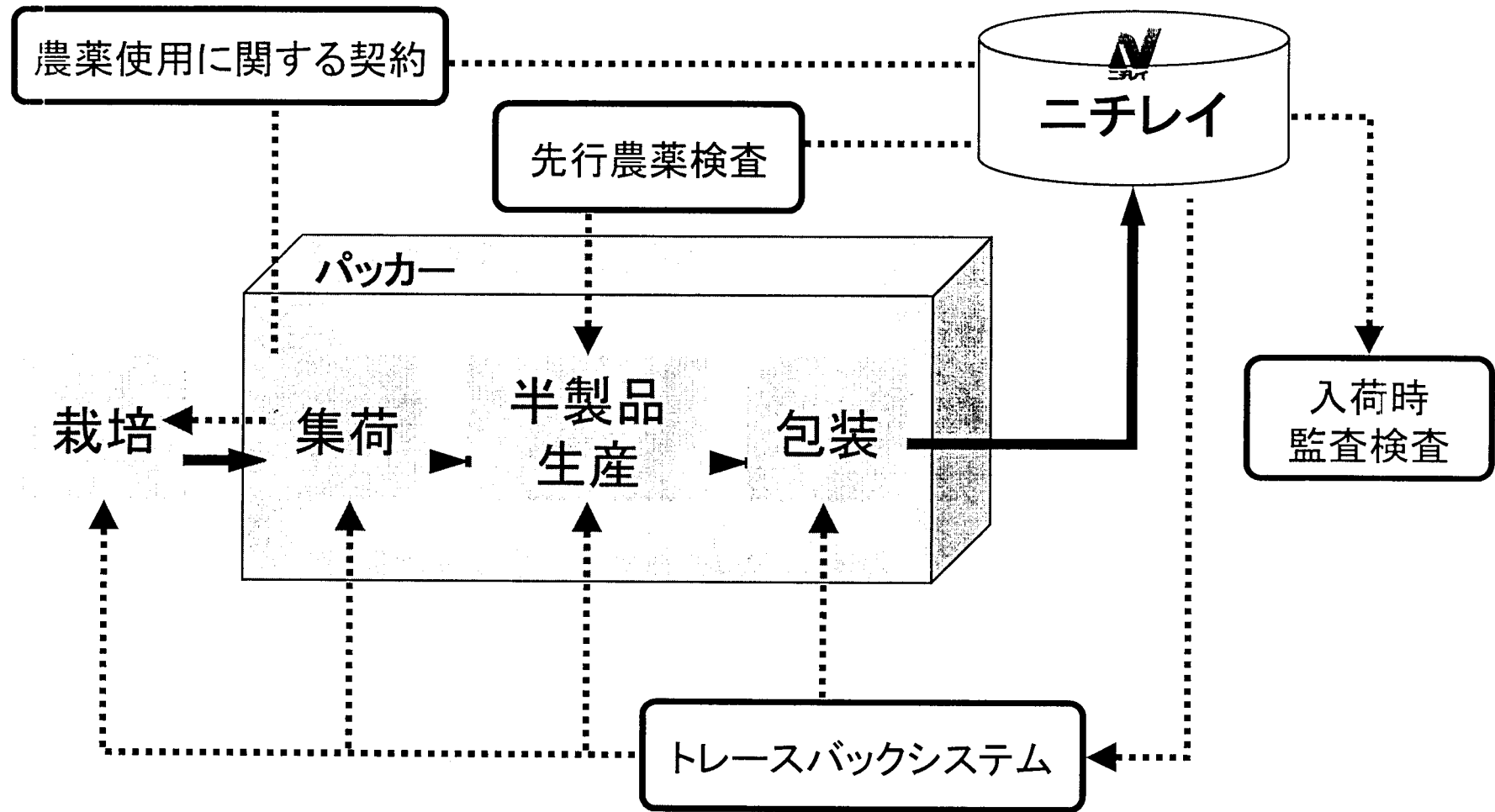
先行農薬検査

(万が一 入っても)  
**追跡・排除できる**

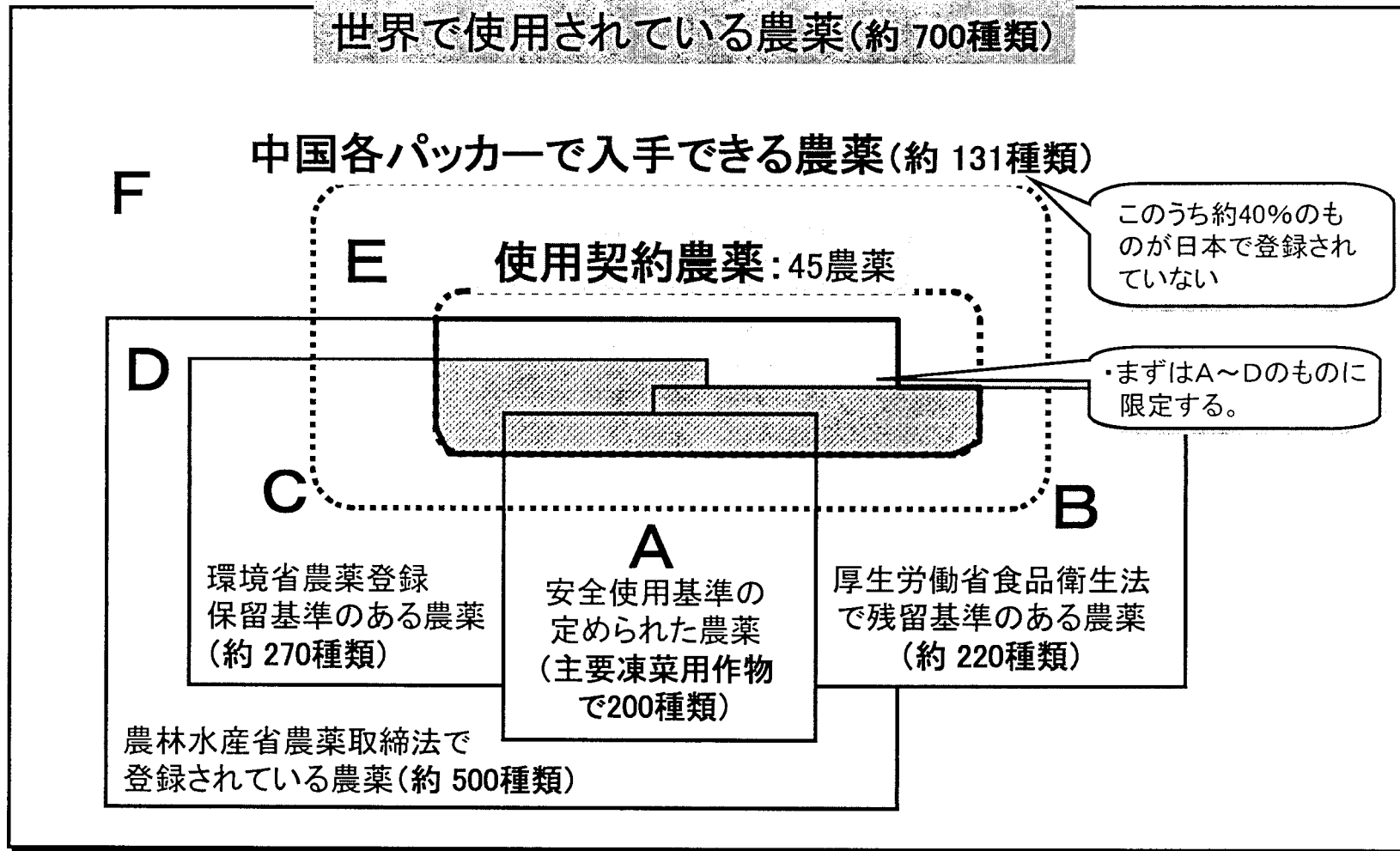
トレースバックシステム



# 冷凍野菜の農薬管理フロー



# 使用農薬の優先順位 (A~F)



※A, B, Cは作物別に個別に設定されています。



# 先行農薬検査フロー

